

・以下の集計値／グラフは、令和5年4月18日に実施した調査の結果を集計した値です。

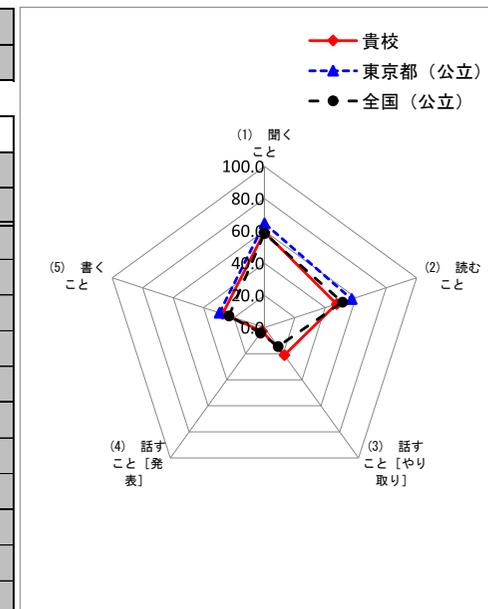
※ただし、話すこと[やり取り][発表]に関しては、4月18日から5月26日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数	江戸川区立松江第一中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	200	71,486	893,528

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都(公立)	全国(公立)
全体			46.0	52.0	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	59.3	64.7	58.4
	(2) 読むこと	6	47.4	57.2	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	4	21.1		14.5
	(4) 話すこと [発表]	1	2.7		4.2
	(5) 書くこと	5	27.5	29.6	23.4
評価の観点	知識・技能	9	53.6	57.9	51.5
	思考・判断・表現	8	37.0	44.8	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	53.4	61.0	54.8
	短答式	3	35.2	37.6	30.1
	記述式	2	16.0	17.6	13.5

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



現状把握（調査問題から見た課題）

- ・全体数値から全国（公立）平均正答率よりもわずかに高かったものの、都（公立）平均より6パーセントも下回った。
- ・観点別にデータによると、「聞くこと」・「読むこと」の領域が大幅に正答率が低かった。「話すこと」（やり取り）の領域では全国正答率を大きく上回り、会話形式の問題はスムーズに理解できていることが分かる。
- ・評価の観点でみると「思考・判断・表現」の観点で全国平均よりも下回り、自分で表現することに苦手意識をもっている生徒が多いことがうかがえる。よって習得した知識を用いて、それを自ら活用する力を養っていく必要がある。

指導改善のポイント

- ・家庭学習や既習事項の復習を繰り返し、基礎学力の定着を図る。そのうえで、そこで得た知識を用いて、英文を作成したり、声に出したりして「表現」という作業を繰り返す。習得した単語やフレーズは実際に活用しないと身につかないので、繰り返し学習し、学力向上を目指す。
- ・「読むこと」の技能の向上には「読むこと」に慣れていく必要がある。長文を読解する機会を増やし、全体を読みとる力とパラグラフごとに細かに読んでいく力を両方身につけさせるよう指導にあたる。